

I Saw All Spain(その1)!! スペインの概要と学ぶべきポイント

2008年3月にスペインを10日間(8泊10日)視察してきました。視察の目的は、弊社がコンサルティング業務を行っているスペインをイメージしたSCのデザインコンセプトの策定のためです。そのためスペインを実際に見聞し、SCの商環境づくりのビジネス・ヒントを得ることでした。

私は、SCの商環境づくりの中で「モールや場」は大切な要因であると考え、「店舗・商品」と「通路」と「空間」及び「時間」を一体化し、快適かつ異質性のあるエンターテインメント・プレイスを構築することをモール&プレイス戦略と呼んでいます。モールのタイプは「アメリカ型のギャラリー型モール」と「ヨーロッパ型の街角型モール」と「タウンセンター型のまちづくり型モール」の3タイプがあります(六車流：流通理論)。

ヨーロッパ型のモールを形成する要素は「ストリート」(通り)、アレイ(小径)、プラザ(広場)、パティオ(中庭)、「街角」に「空間と時間」の次元を付加したものです。ヨーロッパの中でも、スペインが一番、まちづくり・SCづくりのデザインの原点に近いと言われていたので興味を持って研修視察に行ってきました。

I Saw All Spainは、5つの視点で編集(896-900)しており、まず、紀行文から始めさせていただきます。

リスボン(ポルトガル)視察・研修

大航海時代の記念碑やジェロニモス修道院や中心市街地の散策及び歴史的旧市街地の視察・研修をしました。

トレド(スペイン)視察・研修

ローマ時代は一城塞都市でしたが、6世紀に西ゴート王国の首都になったことから、大きく発展しました。その後、イスラム教徒によって征服され、それに対し何回かの再征服が繰り返された結果、トレドの文化はキリスト教、イスラム教、ユダヤ教の文化が融合して形づくられていきました。1561年にマドリッドに遷都してからも、スペイン・カトリックの首座大司教の座として、今も宗教の一大中心地であるトレドを視察・研修しました。

マドリッド(スペイン)視察・研修

スペインの首都であり、1561年にフェリペ2世がスペイン王国の首都にしてから本格的に発展が始まった都市を視察・研究しました。

エル・エスコリアル(スペイン)視察・研修

1557年、サン・キンティンの戦いでフランス軍を破ったフェリペ2世からの勝利を記念して、このエル・エスコリアルに宮殿兼修道院を建設しました。高さ95mのドームを持つ聖堂を中心にサン・ロレンソ修道院と王宮を視察・研修しました。

セゴビア(スペイン)視察・研修

世界遺産に登録されているローマ時代の水道橋に代表される古い都市で、要塞化された断崖の上に築かれている美しい城のアルカサル(スペイン語で「城」の意)があります。このアルカサルはディズニーの映画「白雪姫」に出てくる城のモデルとなっており、セゴビアの街からアダラーマ山脈まで一望できます。この美しくかつ歴史的都市のセゴビアを視察・研究しました。

セビリア(スペイン)視察・研修

セビリアの町の中心部に残っているカテドラル(大聖堂)やアルカサル等の建築物は、キリスト教徒によるレコンキスタ(国土回復運動)の拡大期であった13~16世紀のもので、その後、セビリアはアメリカ大陸との交易港として更なる繁栄期を迎え、1519年に世界一周の旅に出たマゼランも、このセビリアから出発しています。17世紀には莫大な富を背景に芸術の都として知られるようになったセビリアを視察・研修しました。

コルドバ(スペイン)視察・研修

イスラム建築の骨組みを残してキリスト教会に改築した不思議な空間の魅力のメスキータのあるコルドバを視察・研修しました。

グラナダ(スペイン)視察・研修

アルハンブラ宮殿と夏の離宮があるグラナダを視察・研修しました。

ミハス(スペイン)視察・研修

コスタデソル(太陽海岸)沿いをドライブし、途中で白壁のかわいい街並みのミハスを視察・研修しました。

バルセロナ(スペイン)視察・研修

中心市街地のグラシア通り、ランブラス大通り、天才建築家ガウディの傑作で今なお建築中の聖家族教会(サグラダファミリア)やピカソ美術館を視察しました。

このように、スペインは商業施設ではなく、ヨーロッパ文化及びスペイン文化を視察・研究し、SCの「にぎわい空間」「にぎわい時間」を創出するためのモール・プレイス戦略策定の発想旅行でした。

(流通とSC・私の視点(897)へ続く)

(株)ダイナミックマーケティング社³
代 表 六 車 秀 之